

運動部の地域展開における取組と課題について

1 運動部の地域展開における取組

(1) 拠点校部活動の実施

- ・単独校での部活動維持が難しくなった際に、必要に応じて学校間が連携して合同・拠点校部活動が設置されてきた。
- ・令和7年9月からは地域クラブ活動へのスムーズな転換を図ることを目的に、市内の複数校に設置されている部活動を競技ごとの拠点校を定め、生徒や顧問が集まり活動を行った。

(2) 休日地域展開に向けた協議

- ・令和8年9月からの休日地域展開に向けて、関係者全体が共通理解のもと連携し、検討を進めるため、競技団体と顧問による全体会議を開催した。
- ・競技団体と顧問による競技ごとの分会を設置し、生徒の望ましい活動環境の整備や課題について継続的に協議を行った。

【分会における課題】

運営資金の確保/活動場所の確保/指導者の確保/学校との連携/保護者負担の増加

(3) 運動部会における協議・検討

- ・分会における課題を整理し、地域展開の考え方や必要な支援について検討を行った。

【地域展開・地域クラブ活動の課題】

- ・平日を含めた地域展開の実施時期を検討し、支援策を検討する必要がある。
- ・平日の地域展開には、指導者が放課後の時間帯に指導を行えない、夜間の活動場所の確保や施設整備などの課題がある。
- ・地域クラブ活動には、持続可能になるよう自主財源や受益者負担での運営が必要であるが、大会参加の遠征費や競技消耗品など活動内容によって必要な経費がクラブにより異なり、すべてを会費で補うと会費が高額になるなどの課題がある。
- ・会費や指導者報酬の関係では、低額な会費にすると指導者がボランティアになる、指導者報酬を支払うと会費が高額になるなどの課題がある。
- ・活動を充実させるためには顧問の協力が必要、しかし、顧問は異動により持続可能ではないなどの課題がある。
- ・平日部活動・休日地域クラブ活動の実施は、会費が二重にかかる、平日の練習と休日の大会で指導者が異なるなどの課題がある。

【運動部会の基本方針】

- ・競技団体主体の中学生を含めたジュニア世代の育成環境の構築
- ・競技団体が主体となることで、
小中高など長期的で一貫した指導・関わり/指導者の育成・指導者サイクルの構築
競技人口の拡大による活動の維持/競技団体のガバナンス強化
により、持続可能な活動となるよう取組を行う。

【課題に対する支援】

- ・地域クラブ活動の認定制度
中学生が適切な活動を行うことができるクラブを認定し、支援を行う。
- ・財政支援
地域クラブにおいて活動内容、それに伴う必要な経費、会費の設定、指導者報酬の考え方など実情が異なることから、認定地域クラブが行う主体的な活動及び持続可能な活動環境の整備の促進を目的に財政支援を行う。
- ・活動場所の支援
認定地域クラブは、休日に部活動が利用している時間帯を優先的に利用できるよう支援を行う。

(4) 地域クラブ活動の実施・支援 別紙1(P4)

(5) 分会合同会議の報告 別紙2(P10)